

製品名: CD3- δ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08386**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	CD3D
別名	CD3D; T3D; T-cell surface glycoprotein CD3 delta chain; T-cell receptor T3 delta chain; CD3d
遺伝子 ID	915.0
SwissProt ID	P04234
免疫原	抗血清はヒト CD3D の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

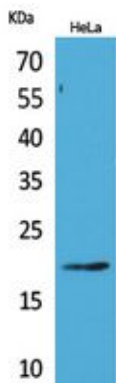
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞受容体/CD3複合体 (TCR/CD3複合体) の一部であり、T細胞の発達とシグナル伝達に関与しています。コードされる膜タンパク質は CD3 複合体のデルタサブユニットを構成し、他の4つの CD3 サブユニットと

ともに、TCR α/β またはTCR γ/δ に結合してT細胞表面にTCR/CD3複合体を形成します。この遺伝子の欠陥は、常染色体劣性T細胞陰性/B細胞陽性/NK細胞陽性の重症複合免疫不全症（SCIDBNK）の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっています。他のバリエーションも存在する可能性があります、それらの転写産物の全長は未だ説明されていません。 [RefSeq 提供、2009年2月],注意：ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとしてお考えください。疾患：CD3Dの欠陥は、常染色体劣性T細胞陰性/B細胞陽性/NK細胞陽性の重症複合免疫不全症（SCIDBNK） [MIM:608971]の原因です。SCIDは、遺伝的および臨床的に異質な希少先天性疾患群であり、体液性免疫と細胞性免疫の両方の障害、白血球減少症、および抗体レベルの低下または欠損を特徴とします。SCIDの患者は、乳児期に日和見菌による反復性かつ持続的な感染症を呈します。SCIDのすべてのタイプに共通する特徴は、T細胞発達の欠陥によりT細胞を介した細胞性免疫が欠如していることです。機能:CD3複合体はシグナル伝達を媒介します。オンライン情報:CD3D変異db,類似性:1つのITAMドメインを含みます。サブユニット:Tリンパ球のTCR/CD3複合体は、細胞表面で共発現するTCRアルファ/ベータまたはTCRガンマ/デルタヘテロダイマーと、ガンマ、デルタ、イプシロン、ゼータ、イータと呼ばれるCD3の不変サブユニットで構成されます。、

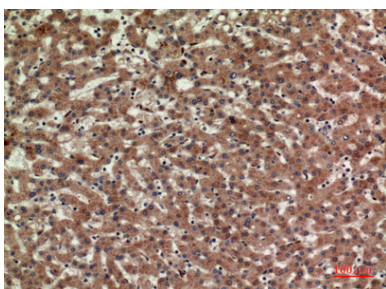
研究分野

造血細胞系統;T細胞受容体;原発性免疫不全症;

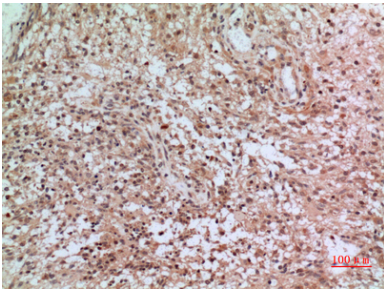
画像データ



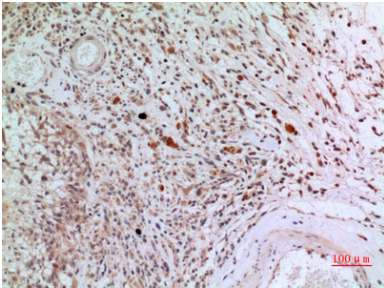
CD3- δ ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された